九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Ni微粒子の表面修飾Pがバインダー分解と焼結現象に与える影響に関する研究

照屋, 正祐

https://hdl.handle.net/2324/7157334

出版情報：Kyushu University, 2023, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

KYUSHU UNIVERSITY

（様式５－２）

氏　　名	照屋　正祐
論　文　名	Ni 微粒子の表面修飾 P がバインダー分解と焼結現象に与える影響に関する研究
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　中島　邦彦 副　査　　九州大学　　教授　　中野　博昭 副　査　　九州大学　　教授　　寺西　亮 副　査　　九州大学　　准教授　　齊藤　敬高

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本論文は，リン（P）で表面修飾した Ni 微粒子およびその塗料に着目し，Ni 微粒子の基礎物性（結晶性，表面修飾状態，加熱ガス脱離，焼結性）の評価を行い，Ni 微粒子を塗料化した際のバインダー分解性や焼結性に与える影響を解明するとともに，実用レベルで積層セラミックコンデンサ（MLCC）の性能，品質向上に寄与できる P の適正添加量を提案したもので，物質プロセス工学上寄与するところが大きい．よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める．